

平成18年5月19日

PTA会員各位

中央区立佃島小学校
校長 松田 博康

一人ひとりが冷静な対応をお願いします

日頃より、学校活動にご協力いただきありがとうございます。

昨日、配られた5月12日PTA総会（以下、PTA総会といいます。）報告にあるように、平成18年度役員候補がPTA総会で承認されないと共に、事業計画案及び予算案も承認されていないことから、PTA活動が行えない状態となっております。PTAの現状に関して、様々な流言飛語が流れ、中には人格を傷つけるような中傷する言葉も耳にしています。また、これに賛同した学校当局にも信頼を損なう言動があります。平成18年度役員候補及び選出委員には、一切の責任がないことをご報告いたします。私の30年以上の教員生活においては、上程された次期役員候補が承認されない事態は初めてであり、学校長としても困惑しております。このような事態に対し、私は常日頃より「人のうわさ話をするな。また、人のうわさに惑わされるな。」と言っております。先哲の言葉にも「人を裁くな。自分が裁かれないために。」とあるように、一人ひとりが冷静に対応し、一刻も早く、暫定役員を中心に正常なPTA活動が再開されますように、切にお願い申し上げます。

<これまでに至る学校としての見解>

1. 平成18年度の役員候補を選出した選出委員会には、会則16条により教職員から1名参加しており、選出の過程において問題となるべき事項は存在しないこと、及び、その間に「政治的・宗教的な圧力」も一切感じなかったとの報告を受けております。なお、役員選出委員会が総辞任したのは、「体力的・精神的に再度の選出作業が不可能である」という選出委員の辞任の理由がPTA総会で述べられております。
- 2 ぎ 今までの運営委員会等においても、今回の役員選出の過程で、「政治的・宗教的圧力等」があったという話は一度も聞いておりません。
- 3 平成18年度役員候補者についても、PTA役員として一切の問題はないと考えておりましたので、参加した教職員は承認案に賛成いたしました。
- 4 承認されなかった結果を受け、「通常の教育活動に支障をきたす」と判断し、「教職員は今年度の役員選出委員にならないこと」を表明いたしました。（このことにより、今後、会則の改正等が必要と判断されますので、暫定役員にはその旨を申し入れてあります。）

以上